

有識者意見の概要及び意見に対する対応

1. 調査研究課題名「交通バリアフリーの地域に及ぼす効果に関する調査研究」	
2. 有識者意見の概要およびその対応 有識者：小谷通泰氏 神戸大学大学院海事科学研究科教授 羽原敬二氏 関西大学政策創造学部教授 <div style="text-align: right;">(50音順) (役職は当時のもの)</div>	
意見の概要	意見に対する対応状況
調査対象地区は、それぞれ違った特徴を持っていることから、アンケート調査票の質問内容は地域別に作成する必要がある。また、調査対象者も居住者、来訪者、商業者等とそれぞれ違った特徴を持っていることから、アンケート調査票の質問内容は調査対象者別に作成することも必要である。	居住者調査では、それぞれの地域別・居住地別にアンケート調査票を作成し、かつ実体験に基づく回答のしやすさを考慮し、高齢者と子育て世代でも個別に作成した（7種類×2＝14種類）。 来訪者調査、商業者調査でも、質問内容を個別に作成し、ヒアリングを実施した。
アンケートでは、地図を用いて各駅から施設までのルートを示してはどうか。	来訪者調査では、エレベーターとエスカレーター等の位置を明記した地図を示しながら、当日の移動ルートをヒアリングした。 また、居住者調査では、エレベーターとエスカレーターの位置を明記した地図を添付し、具体的な設備を想定して回答してもらうようにした。
バリアフリー化された駅だけでなく、未整備駅での今後の効果も含めて検証できればよい。	整備済のバリアフリー化だけでなく、今後の整備に対する行動の変化を回答してもらい、未整備での今後の効果も含めて検証した。